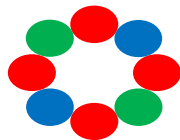


# 医療介護福祉政策研究フォーラム

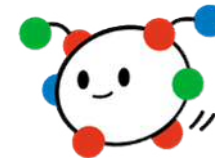
## 南砺市の地域包括医療ケアによる 5つのまちづくり規範



平成28年4月9日  
南砺市長 田中幹夫



# 1. 南砺市の紹介



本市は、富山県の南西端に位置し、面積は668.86平方キロメートル(東西約26キロメートル、南北約39キロメートル)で、そのうち約8割が白山国立公園等を含む森林であるほか、岐阜県境に連なる山々に源を発して庄川や小矢部川の急流河川が北流するなど、豊かな自然に恵まれています。

北部は砺波市と小矢部市、東部は富山市、西部は石川県金沢市と白山市、南部は1,000メートルから1,800メートル級の山岳を経て岐阜県飛騨市や白川村と隣接しており、市北部の平野部では、水田地帯の中に美しい「散居村」の風景が広がり、独特の集落景観を形成しています。



# 南砺市の概要



## 人口

(H28.1.31現在)

住民基本台帳人口：53,074人  
うち外国人数：671人

## 世帯数

17,751世帯

## 面積

668.86 km<sup>2</sup> (琵琶湖とほぼ同じ)

## その他

- 高齢化率（65歳以上）：34.1%
- 産業別就業者割合 第1次産業：6.7%  
(H22国勢調査) 第2次産業：38.7%  
第3次産業：54.6%
- 製造品出荷額等：2319億円 (H24工業統計)
- 年間商品販売額：486億円 (H24経済センサス)

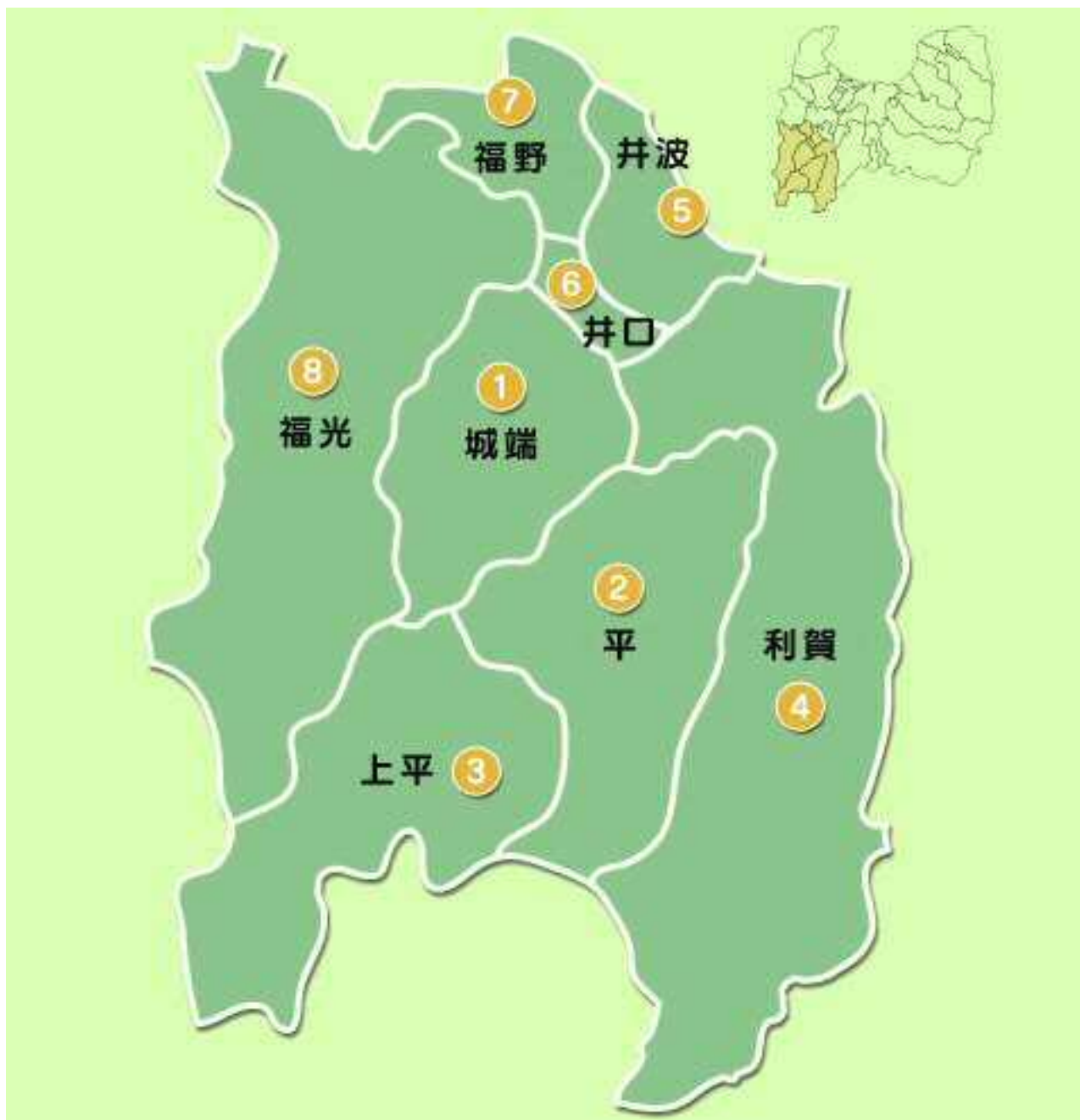
# 富山県南砺市

## 4町4村の合併

2004年11月1日合併  
(平成16年11月1日)

### 人口

|      |        |
|------|--------|
| ①城端町 | 9659人  |
| ②平村  | 1315人  |
| ③上平村 | 955人   |
| ④利賀村 | 1003人  |
| ⑤井波町 | 9965人  |
| ⑥井口村 | 1323人  |
| ⑦福野町 | 14540人 |
| ⑧福光町 | 20041人 |









# 五箇山(相倉・菅沼)の合掌造り集落 世界遺産1995年12月～





# 南砺市の風景・散居村







散居村





演劇の聖地 利賀



ワールドミュージック



井波彫刻



五箇山民謡



# 私の仕事は？

「全ての人が笑顔で暮らせる幸せなまち南砺」  
をみんなで創ること

そして、何があっても。何が起っても。  
それを持続できるまちを！



# 田中幹夫 男の公約

みきお



## 「住民幸福度」を 高めます。

「物質的な豊かさ」より  
「心の豊かさ」が大切です。  
「文化遺産の保護と伝統文化の  
継承・振興」と「豊かな自然  
環境の保全と持続可能な利用」  
を積極的に取り組みます。

## 「住民満足度」を 高めます。

こんな時代だからこそ  
「協働」が必要です。  
積極的に対話集会を行い  
自らの言葉で情報公開し、  
市民の皆さんとともに  
まちづくりを進めます。

協働のまちづくり「結(ゆい)」  
行動する市役所を実現します。

南砺の大地に8つの根を張って、  
しっかりした幹が、未来の  
大きな実りをもたらせます。



# 南砺のまちづくり

## 「結い・土徳」大黒柱

2015. 7. 22

### 私たちは次代に何を残すのか？

地方創生

都会化しないまち

次期総合計画

市民がどんな街を望むのか？  
総力戦で考える

まちづくり基本条例(情報共有・市民主体・協働)

山間過疎地域振興条例

中小企業・小規模事業者振興基本条例

「産官学金労言」連携

地域の個性を核に自立へ(石破大臣)

地方は自ら稼ぐ力を身につけ、  
中央に頼らず自立していく。

交流観光まちづくり  
移住・定住促進事業  
雇用創出 空き家対策  
起業家支援  
農業と地産地消

伝統工芸などモノづくり  
三世代同居促進事業  
有るモノ磨き ICT  
地域内経済循環

ラストチャンス  
地方に人材を集める  
プランナーよりプレイヤー

屋根

従来の取り組みの延長線上で  
はない次元の異なる大胆な政策

儲かる仕組み

事業 予算 施策

市民幸福度・満足度の向上

地方創生事業(人口ビジョン・総合戦略)

梁

ヒト  
自然  
伝統  
歴史  
文化  
食

芸術文化  
創造都市

地域包括医療  
ケア・健康

地方創生キーワード

地域で稼ぐ

強みをとことん、課題をチャンスに変える行動力  
ヒトづくり  
量から質へのギャチェンジ  
土地と文化を守る  
場所の持つ価値を高める懐かしい未来の創造  
ストックの再生 言い訳はしない

地域デザイン  
地域経営

クリエイティブ  
エイジ

健やか子育て  
教育

柱

エコビレッジ構想(新しいライフスタイルの提案)

基礎

安全・安心・市民主体の協働のまちづくり

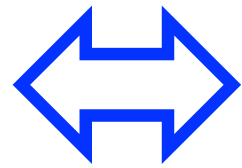
健全な市政運営・財政運営(公共施設の再編)

基盤



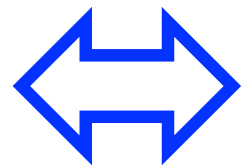
先ずは「不」をとる！

不安



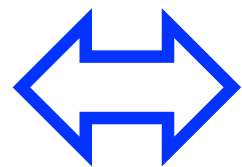
安心

不信



信賴

不満



満足

# 私が大好きな利賀村上畠 生まれ育った場所

私自身母と家族で父を自宅で介護を

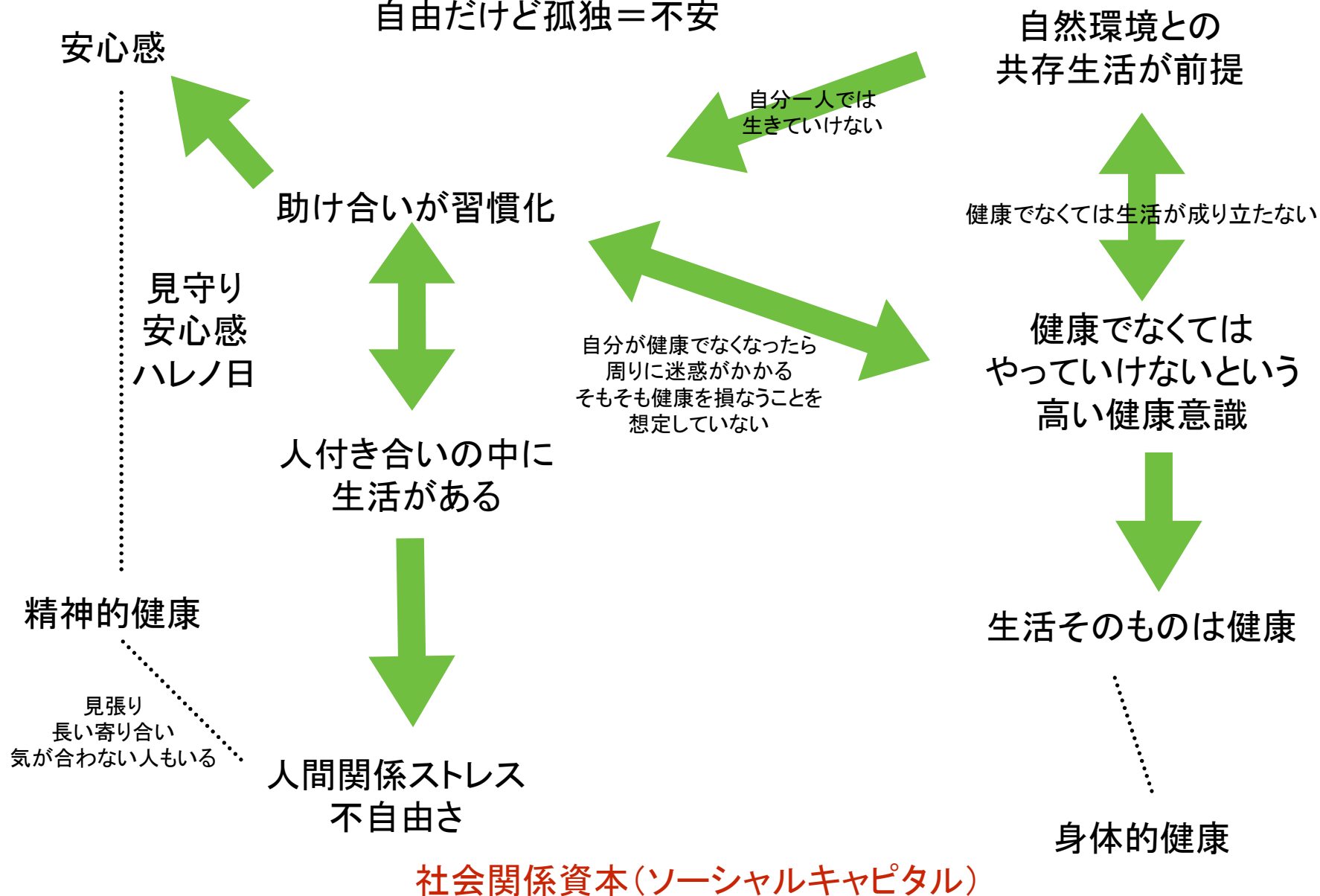


超過疎の山間地生まれ。  
22年間父は要介護2→5へ  
自助・互助・共助・公助・近所を実体験



# 1、利賀の生活における必須要素の関連図

\* 都会のストレス  
自由だけど孤独＝不安



# 社会関係資本 ソーシャルキャピタル(Social Capital)

社会関係資本とは、他の人に対して抱く「信頼」や、持ちつ持たれつ、「**お互いさまの支え合い**」などの言葉で表現される「**互酬性**(ごしゅうせい)の**規範**」、そして人々の中の絆である「ネットワーク」のことを指す言葉です。市場では評価されにくい「**集団としての協調性**」を生み出します。

## 「お互い様の支え合い」

このように、社会関係資本とは、複数の個人からなるコミュニティの中で成立するものです。**犯罪率をはじめとする地域の安定や、教育水準、健康、福祉**などとも関係していると考えられています。



## 【南砺市エコビレッジ構想】

自然と共生し、環境への負担が少ない暮らしを  
営む共同社会 「お互いさまの支え合い社会」



地域の自給率と自立度を高め、安心して暮らせる  
持続可能な社会の構築を目指す

# なぜ今、エコビレッジ構想なのか

少子高齢化

人間関係の希薄化

気候変動

経済優先社会  
への不安

人口減少

災害時対応

自然と共生し、人と人が支え合いながら  
目に見えない豊かさが実感できる  
「新しい暮らし方」が必要

地域資源(人、物、文化、お金)の、  
地域内の循環と地域外との交流

地域の自立





## 【基本理念】小さな循環による地域デザイン

### 【基本方針】

①再生可能エネルギーによる地域内エネルギーの自給と技術の育成

②農林業の再生と商工観光業との連携

③健康医療・介護福祉の充実と連携(地域包括医療ケア)

④未来を創る教育・次世代の育成

⑤ソーシャルビジネス・コミュニティビジネスによるエコビレッジの推進

⑥森や里山の活用と懐かしい暮らし方の再評価による集落の活性化

エコビレッジの普及

EV交通  
システム

森育て  
ネットワーク

循環型農業  
の推進

ヘルスケア  
ネットワーク

情報発信  
機能の強化

エネルギーの  
自給率向上

伝統文化の  
継承拠点づくり

生ゴミ堆肥化  
システム

交流とにぎわい

私たちの確かで豊かな未来は懐かしい過去にある。

家族の絆の再構築  
地域コミュニティの再構築

「結い」と「合力(コーリャク)」で昔ながらの新しい社会関係の構築

自助。互助。共助。公助の確立



# 公助；福祉・行政サービス

医療・介護等の課題分析と解決策策定、連携構築

訪問看護ステーション

南砺中央病院

地域包括支援センター

民生部

介護福祉センター

南砺市民病院

地域包括医療・ケア局

地域包括医療・ケア ワーキング会議

第1回開催 平成22年9月21日(火)  
南砺市介護福祉支援センター会議室

# 互助；人・地域作り

## 地域医療・地域活性化 マイスター養成講座

平成21年10月；第1期開講：約50名  
医師5名、看護師/保健師10名、福祉職10名、  
診療技術職5名、事務職5名、  
住民15名（婦人会10名、女性議員5名）  
平成26年度の6期までで260名養成



富山大学総合診療部山城教授

田中南砺市長



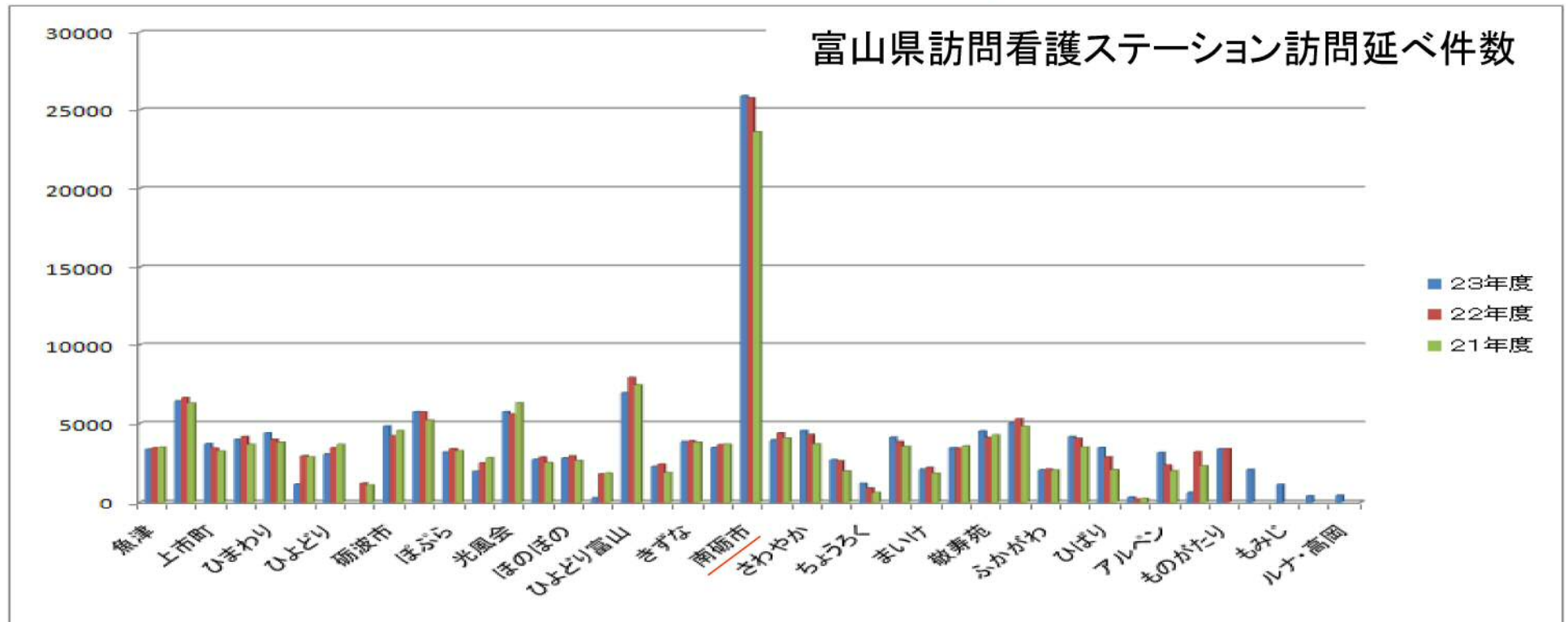
# 介護保険推進全国サミットinなんとの開催

## 開催市からのメッセージ 平成25年11月18日

多職種連携で結ぶ家族の絆と地域の絆  
～一人ひとりの人生を支える地域包括医療・ケア～



# 共助；在宅医療・介護機能



## 南砺市介護福祉支援センター

訪問看護ステーション



ホームヘルプステーション



在宅介護支援センター





# 南砺市訪問看護ステーション 平成12年～平成24年の 在宅看取り数(人)の推移

## 在宅の自然死 検視なし

### 南砺で医師会提案 今月から

南砺医師会が、在宅で自然死を疑った場合に、検視をせずに済むように、医師が自宅に訪問して、死因を判断する仕組みを提案している。この仕組みは、医師が自宅に訪問して、死因を判断する仕組みを提案している。この仕組みは、医師が自宅に訪問して、死因を判断する仕組みを提案している。

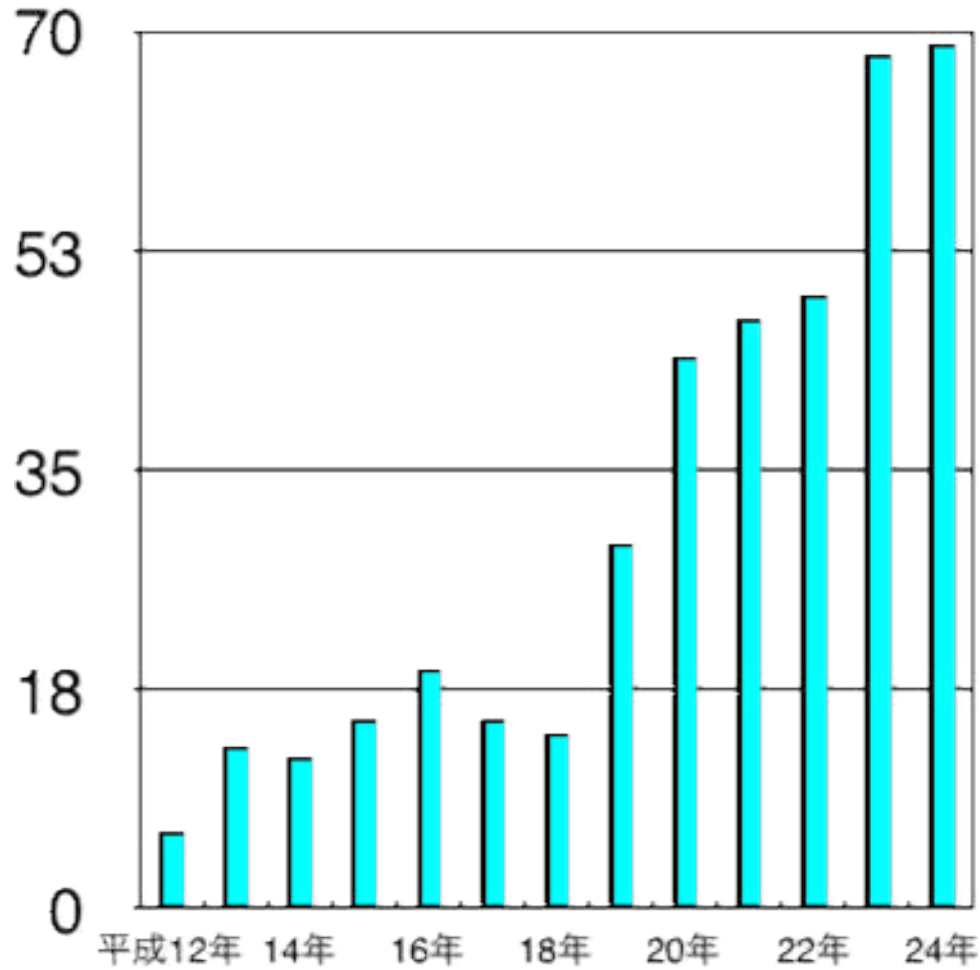
**みどり心穏やかに**

南砺医師会が、在宅で自然死を疑った場合に、検視をせずに済むように、医師が自宅に訪問して、死因を判断する仕組みを提案している。この仕組みは、医師が自宅に訪問して、死因を判断する仕組みを提案している。

南砺市内の在宅患者に交付される緊急時連絡先記入用紙(南砺市内の医師)

緊急時連絡先記入用紙のイメージ

南砺市内の在宅患者に交付される緊急時連絡先記入用紙(南砺市内の医師)



■ 看取り件数



# 一人暮らしの認知症の方が笑顔で暮らせるまちづくり

平成26年11月23日 北日本新聞記事

北日本

## 認知症地域の「絆」支えに

### 富山大看護学会学術集会

医療や介護の専門職にとどまらず地域住民が支える福祉システムをテーマにした富山大看護学会学術集会が22日、富山市のパレブラン高志会館で開かれ、重い認知症になっても住み慣れた地域で過ごせる環境づくりなどをテーマに意見を交わした。パネルディスカッションで、田中南砺市長は31地区別の自治振興会を基盤に支援のネットワーク構築を進める考えを示した。

## 南砺市長ら意見交換

南砺市では「地域内分権」と「運を盛り上げてきた。田中市長は「一人暮らしの認知症の人が笑顔で生活できるまち」を打ち出した。富山福祉短大の炭谷靖子看護学科長も認知症ケアの充実を主張。徘徊（徘徊）に対し「周囲が見守り、連絡する態勢」づくりが必要と、地域での目配りの大切さを指摘した。新川地域で在宅医療をリードしてきた中川彦人・県在宅医学会長もコミュニティの再活性化を訴えた。



田中市長（右から2人目）らが在宅支援について意見を述べた学術集会—パレブラン高志会館

市民病院や市医師会、訪問看護ステーションを中心にした医療・介護サービスを基盤に、地域住民を担い手とする見守りや生活支援を加え、より重層的なサポート体制の構築につなげるのが狙いだ。目標として「一人暮らしの認知症の人が笑顔で生活できるまち」を打ち出した。

富山福祉短大の炭谷靖子看護学科長も認知症ケアの充実を主張。徘徊（徘徊）に対し「周囲が見守り、連絡する態勢」づくりが必要と、地域での目配りの大切さを指摘した。新川地域で在宅医療をリードしてきた中川彦人・県在宅医学会長もコミュニティの再活性化を訴えた。

司会の大浩県砺波厚生センター所長は今後の在宅支援について「専門職や住民が顔が見える関係をつくり、まちづくりとして進めてほしい」と呼び掛けた。

南砺市における規範の統合  
田中市長の街づくり宣言



昨年、吉江中で行われた認知症サポーター養成講座。新年度から小学生も対象とする



新年度から南砺市

## 小中学校で講座

# 認知症ケア幅広く

南砺市は2015年度から、市内小中学校の授業に、認知症の人を支える「認知症サポーター」の養成講座を導入する。地域包括支援センターから講師を派遣し、認知症の特徴や接し方を説明する。サポーターとなった子どもには、可能な範囲で祖父母ら身近な人へのケアに「役買ってもらい、幅広い年齢層による支援につなげる。

### 家族をサポート

認知症サポーターは、患者やその家族を手助けし、認知症になっても住み慣れた地域

で暮らせる環境づくりに貢献する。27日に国家戦略として示された認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)では、養成目標が従来の600万人から800万人に引き上げられた。

南砺市で、2014年12月末までに養成したのは2106人。講座の指導役となるキヤパンメイトを含めた人数の全人口に占める比率は、同月末時点で4.0%にとどまり、県の5.9%を下回っている。

年齢層を拡大してサポーターを増やそうと、14年6月に吉江中学校で養成講座を開催。15年度からは小学5、6年生と中学生を対象とし、総合的学習の授業で取り組んでもらう。校長会を通じて実施を呼び掛け、各校に講師として地域包括支援センター職員を派遣する。

講座は90分で、2時間分に相当する。認知症の種類や症状のほか、温かな接し方によって症状悪化を防げることを説明する。さりげない見守りなど肩肘を張らずに取り組むことの大切さも訴える。

市教委は、全ての子どもが小学校か中学校のいずれかで講座を受けられるようにする考えだ。同センターは、「子どもたちが講座で学んだことを親たちに伝え、住民意識の変化や支援拡大につながればいい」と効果を期待している。

平成27年1月30日  
北日本新聞掲載  
小中学生へ認知症サポーター養成講座



# 回想法で認知症ケア

南砺市で地域医療や福祉への貢献を目指す住民グループ「なんと住民マイスターの会」(大塚千代代表)が、市内のグループホームで、回想法①の手法を取り入れた認知症ケアを実践している。施設職員から、症状が落ち着く効果があるなどと好評だ。(南砺総局長・宮田求)

## 施設に取り入れ効果

### 南砺の住民グループ

この会は、地域医療や福祉を支える人材を「マイスター」として育てる南砺市による講座の修了者約20人で構成。認知症ケアを重点的な活動とし、これまで愛知県などで回想法の先進的な活動を視察したほか、回想法に活用するため、昔の遊び道具や農作業、学校風景などの写真を掲載し

たガイドブックを作った。昨年5月からは、同市井波福光地域などのグループホーム4カ所へそれぞれ月1回出向き、認知症高齢者に回想法によるケアを実践している。20日は、大塚代表(71)ら4人が同市蛇喰(井口)の「イエローガーデンのくち」を訪問。15人のお年寄りに、か



「なんと住民マイスターの会」メンバー(中央)にサポートされ、こま回しを楽しむお年寄り—南砺市蛇喰

つて作ったおせち料理や正月飾りなどについて問い掛け、昔話で盛り上がったほか、羽子板とこまを使って、正月遊びも楽しんでもらった。94歳の男性は、自らの投げたこまが床上で勢いよく回ると、満足そうな笑みを浮かべていた。羽子板を手に、羽根突きにちなむ数え歌を口ずさむ女性もいた。施設の森松好美管理者(44)は「遊びを通じて、徐々に昔のことを思い出し、表情も穏やかになる」と、ケアの効果を実感している。今月上旬、別のグループホームでも、同様の昔遊びをしたところ、言葉が発する回数が増え、遊びのこつを教え合っ、交流が生まれる効果があったという。大塚代表は「活動を通して、認知症の人たちへの共感が深まっている。一人一人の尊厳が守られ、安心して暮らせる地域づくりにつながればいい」と願っている。

回想法 思い出を語ること  
で記憶を呼び起こし、心の安  
定を図る手  
ズーム ? 法。脳を活  
性化させ、認知症の緩和や予  
防に効果があるとされる。



# 今までの介護保険の考え方

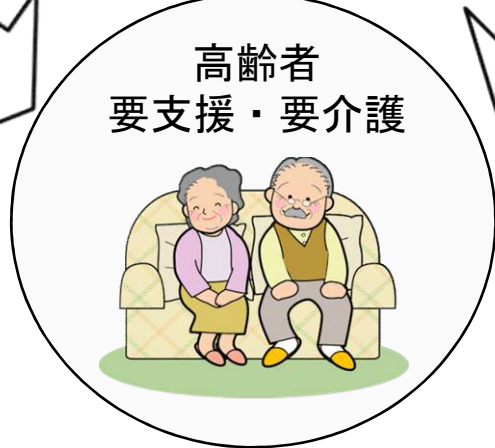
- 【介護サービス事業者】
- 通所型サービス
  - 訪問型サービス
  - 生活支援サービス
  - 介護予防サービス

- 地域住民の参加
- ・ケアネット事業など

- 【行政】
- 介護予防事業
  - 権利擁護
  - 認知症支援
  - ・高齢者福祉事業
  - ・生活保護

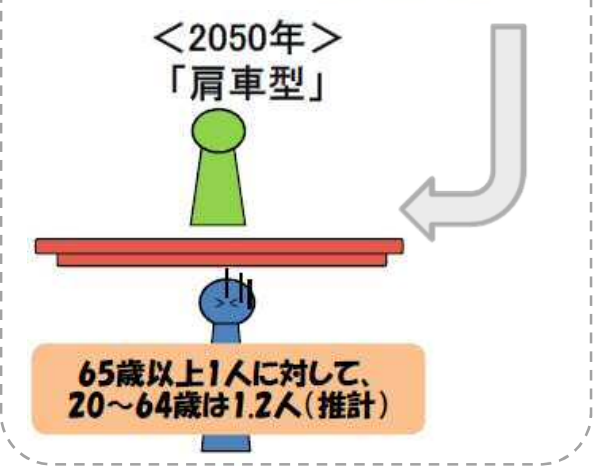
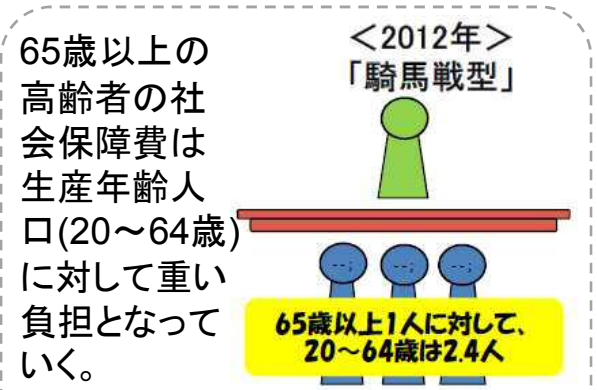
- ・見守り
- ・声かけ

契約



支援

受診

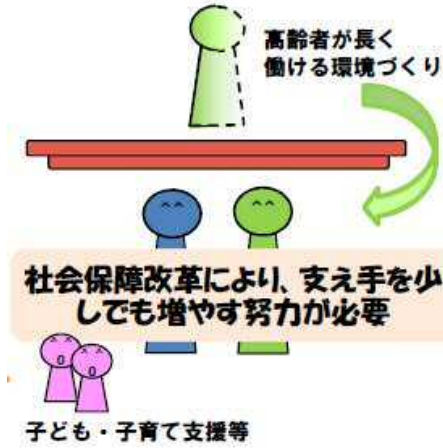


「できないこと」を補うサービス (家事代行・安易な福用具の利用など)

心身機能が低下、要介護度が悪化する傾向も

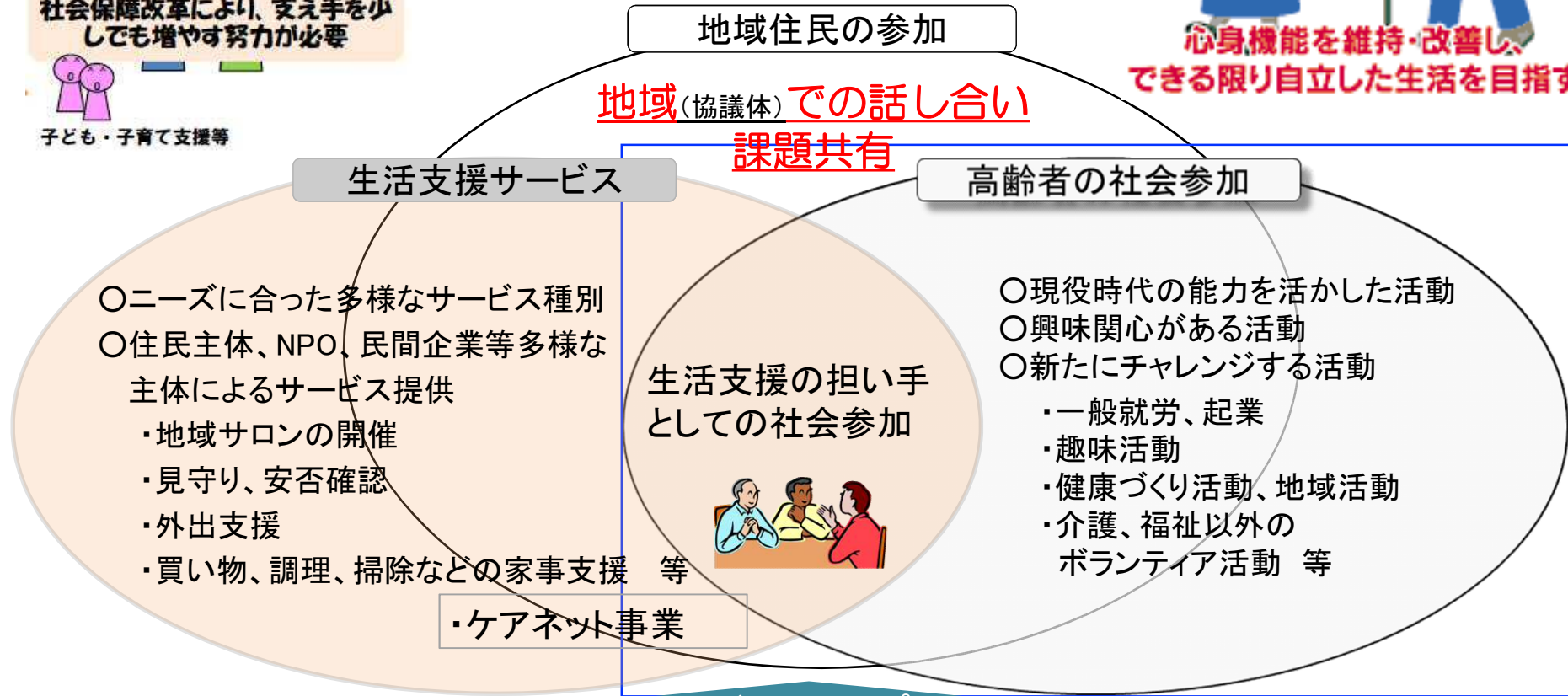
何らかの支援や介護が必要な人

# 新しい介護保険(支援)の考え方



「できること」を引き出すサービス

- その人の意欲や能力を引き出す目標指向型のサービス提供
- 「結」で気軽に助け合える地域づくり



市町村を核とした支援体制の充実・強化



# 南砺市が目指す「地域包括ケア」の姿

## 共助

### 医療

- 病院
- 訪問診療
- かかりつけ医
- 訪問看護

■ 在宅医療・介護連携支援センター

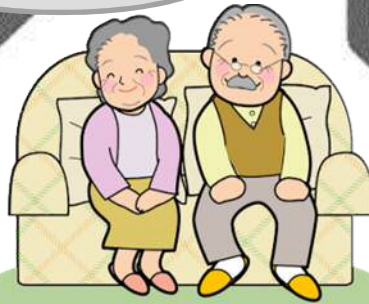
### 介護

- 在宅サービス
- 地域密着型サービス
- 施設サービス

## 自助

- ・自らの健康管理（セルフケア）
- ・市場サービス利用
- ・生きがいを持つ
- ・生活支援サービスの担い手になる
- ・他人に援助を頼む

### 住まい



● 興味・関心チェックシート

● 基本チェックリスト(25項目)

相談等

- ◆ ケアマネジャー（居宅介護支援事業所）
  - ・ケアプランの作成
  - ・評価、モニタリング
- ◆ 社会福祉協議会
  - ・ケアネット事業
  - ・ふくし総合相談事業
  - ・日常生活自立支援事業
- ◆ 地域包括支援センター
  - ・ケアマネジメント
  - ・介護予防事業
  - ・地域ケア会議
  - ・成年後見制度

## 公助

- 高年齢者福祉事業
- 生活保護
- 人権擁護
- 虐待対策
- 認知症集中支援

南砺市型養生訓

互助 地域の助け合い



統合するケア

サービス調整

通院入院

通所入所

# 互助

## 生活支援・介護予防

### 介護予防・日常生活支援総合事業

#### 事業(チェックリスト)該当者

- ▼通所型サービスB(住民主体)
  - ・サロン型ミニデイサービス
- ▼訪問型サービスB(住民主体)
  - ・掃除・洗濯・ベッドメイク
  - ・衣類整理補修・調理、配下膳
- ▼生活支援サービス(多様な主体)
  - ・配食・見守り

#### 一般高齢者

- ▲一般介護予防事業
  - ・交流サロン
- ▲ケアネット事業
  - ・見守り、安否確認
  - ・買物、除雪etc.



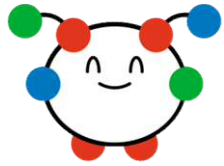
## 地域づくり

## 地域の助け合い

- ★地域での「協議体」の設置(地域を基盤とするケアの構築)
  - ・自治振興会、地区社協、民生児童委員、公民館、ケアネット、NPO、老人クラブ、ボランティア団体、農協、民間企業、食生活改善推進員etc.
- ★地域の方針・視点・価値観・文化の共有(規範的統合)
  - ・地域住民の自立支援に向けた地域の基本方針を定め、その方針を地域住民全員で共有し、地域の資源を統合していくことが重要である。
  - ・高齢者支援に向けた話し合い、認知症サポーター養成講座の開催etc.
- ★地域での人づくり(人材育成)
  - ・地域医療・地域活性化マイスター養成講座
  - ・南砺の地域包括医療・ケアを守り育てる会・介護職員初任者研修etc.

### 南砺市の「5つのまちづくり規範」

1. 幸せに生涯を過ごせる協働のまちづくり
2. 健康寿命を伸ばし、互いに支え合い、独居・老々世帯も安心して暮らせるまちづくり
3. 地域包括医療・ケア(地域包括ケア)で家族の絆と地域の絆を結ぶまちづくり
4. 介護が必要になっても、家族と共に安心して暮らせ、自宅で穏やかな死を迎えられるまちづくり
5. 一人暮らしの認知症の方が笑顔で暮らせるまちづくり



# 確かな未来 それは懐かしい過去

戦後の持続的な経済成長と人口増はもう過去

今までの仕組みを変えなきゃならない！

成長と共に忘れてしまった。壊れてしまったモノをもう一度思い出し。活かしていく。

自助・互助(近所) ——> 公助依存



病院・施設 → 家庭・地域へ

四つの助け合い

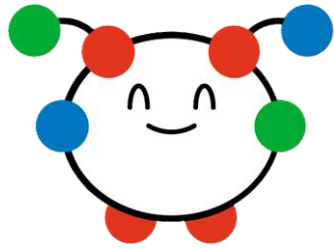
## 自助・互助・共助・公助



介護が必要なヒト  
治療が必要なヒト  
助けが必要なヒト

真ん中にいなくちゃダメ！

市長や専門職、地域の皆さんはサポーター



# 南砺市版

## 「地域包括医療・ケア」とは？

「誰もが地域で安心して自分らしく暮らし続けられる南砺市」

公約1：市民幸福度・市民満足度を高める。

公約2：市民と行政が協働でまちづくりを。

決意1：南砺を創り上げて来られた高齢者を不幸にしない。

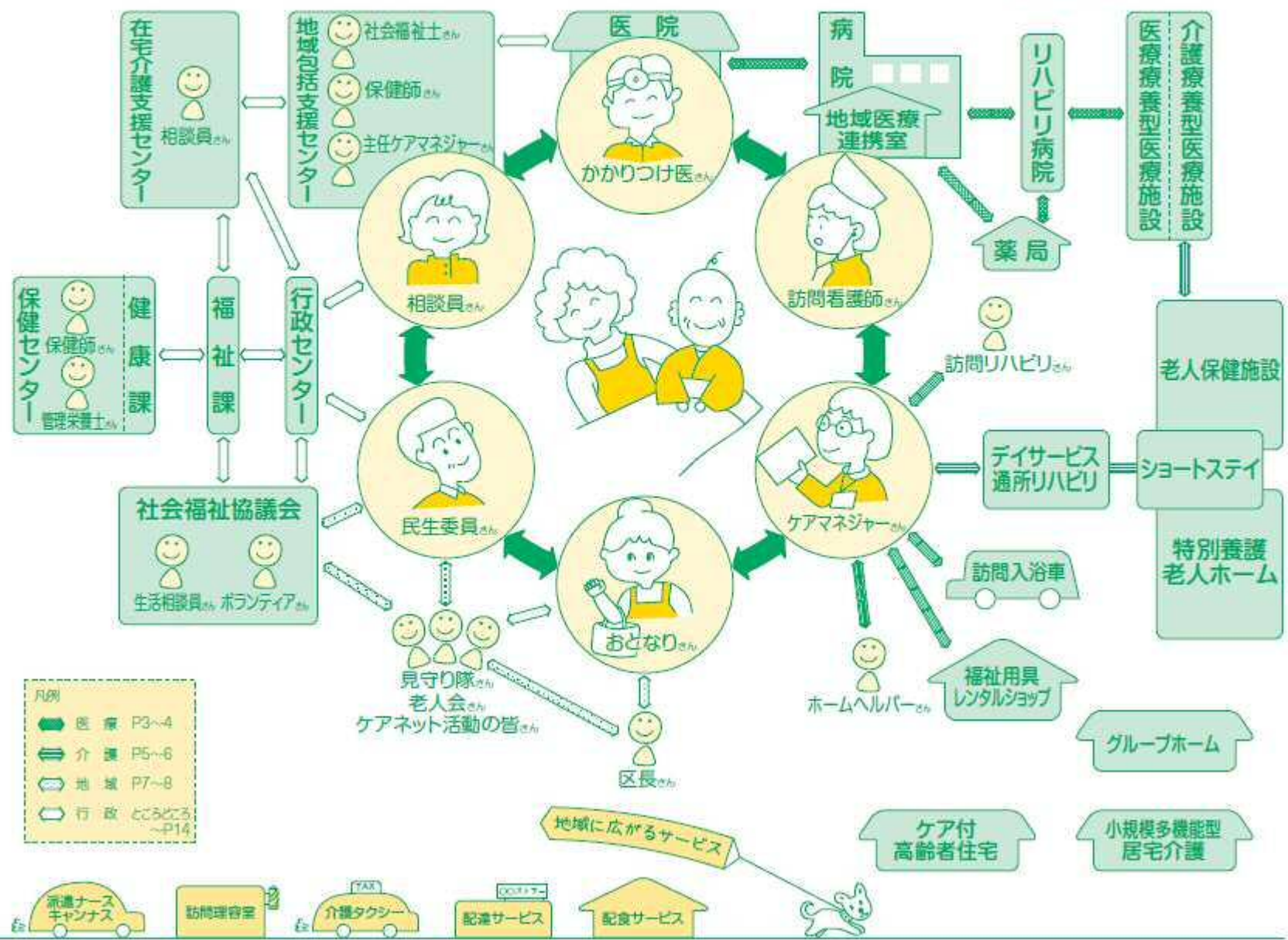
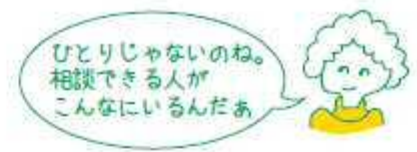
決意2：介護が必要な高齢者を支える家族も犠牲にしない。

決意3：医療・保健・福祉介護や行政、住民で幸せのまちづくり

医療・福祉・介護・保健、そして地域のみなさんの全体  
が有機的に連携して支えあうことが重要！

# これは！まちづくりなんだ！

# 医療と介護と地域とわたし 強い絆でつながっています





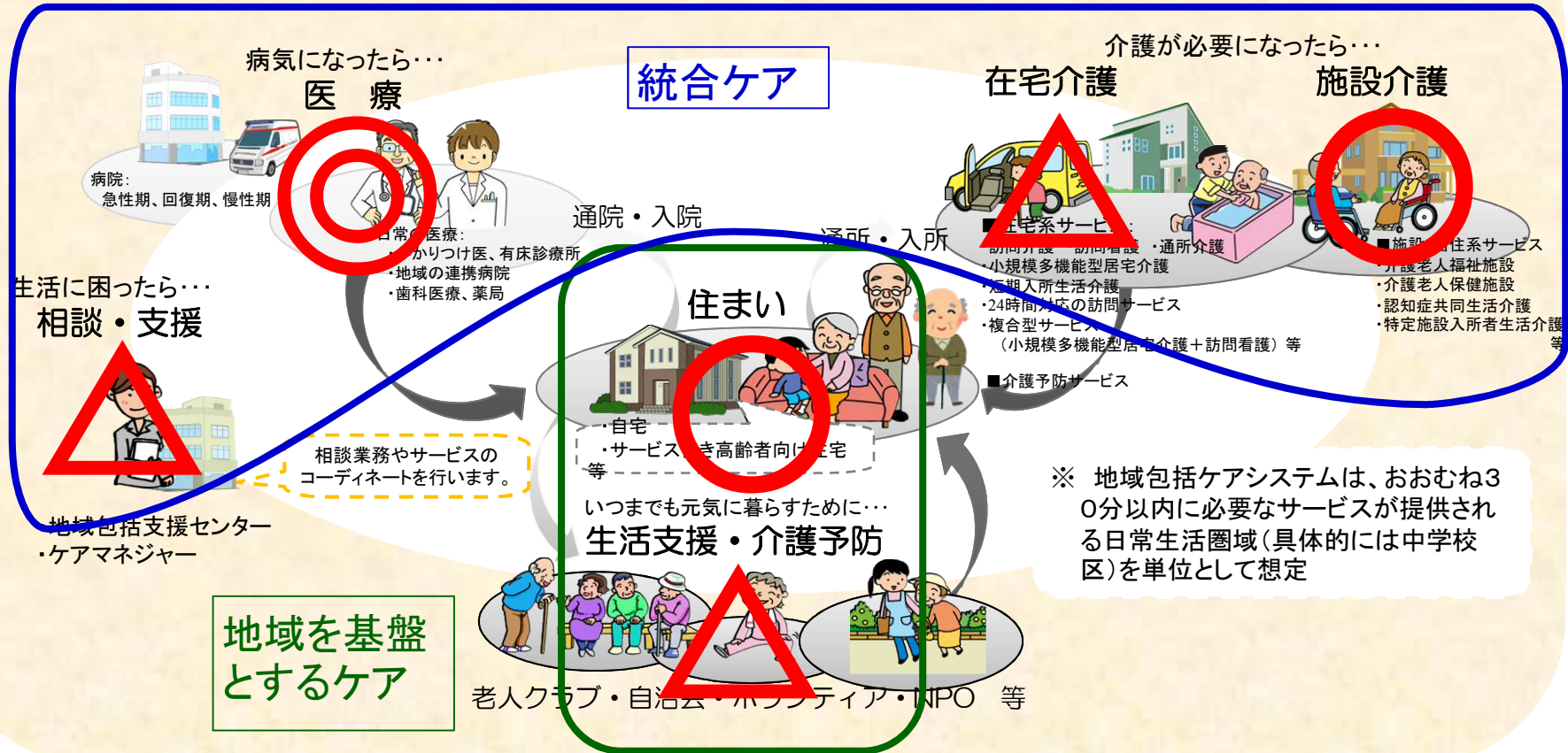
## 地域包括ケアによる5つのまちづくり規範 平成26年11月

- 1、幸せに生涯を過ごせる協働のまちづくり。
- 2、健康寿命を伸ばし、互いに支え合い、独居・老々世帯も安心して暮らせるまちづくり。
- 3、地域包括医療・ケア（地域包括ケア）で家族の絆と地域の絆を結ぶまちづくり。
- 4、介護が必要になっても、家族と共に安心して暮らせ、自宅で穏やかな死が迎えられるまちづくり。
- 5、一人暮らしの認知症の方が笑顔で暮らせるまちづくり。

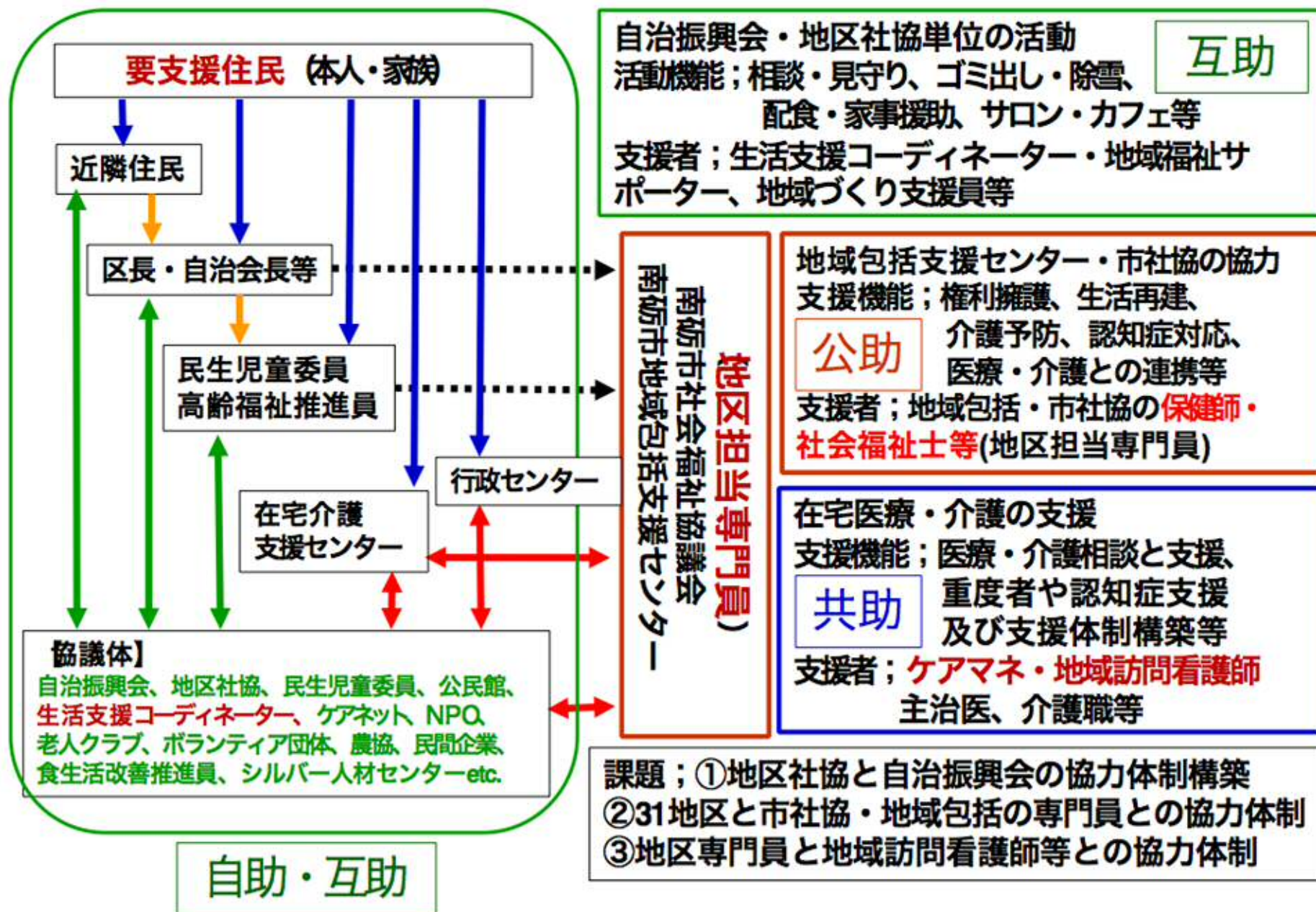
# 「そこそこ良い人生だった」と住民が思える南砺市を 地域包括ケアシステム(南砺市を丸ごと支え合う仕組み)で構築

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年に、重度な要介護状態となっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを貫徹できるよう、地域包括ケアシステムを構築する。
- 南砺市は、75歳以上の増加は緩やかだが、総人口が急速に減少し、認知症高齢者の増加が見込まれる。

## 地域包括ケアシステムの姿



# 地域包括ケアシステム (地域を基盤とするケアと統合するケアの構築)





**南砺市の5つのまちづくり規範 平成26年11月**  
**平成28年度以降、重点的に取り組む「まちづくり」**

**2、健康寿命を伸ばし、互いに支え合い、独居・老々世帯も  
安心して暮らせるまちづくり。**

・**地域を基盤とするケア(自助・互助):生活支援と介護予防**

**5、一人暮らしの認知症の方が笑顔で暮らせるまちづくり。**

・**統合ケア(共助・公助):24時間型在宅支援体制**

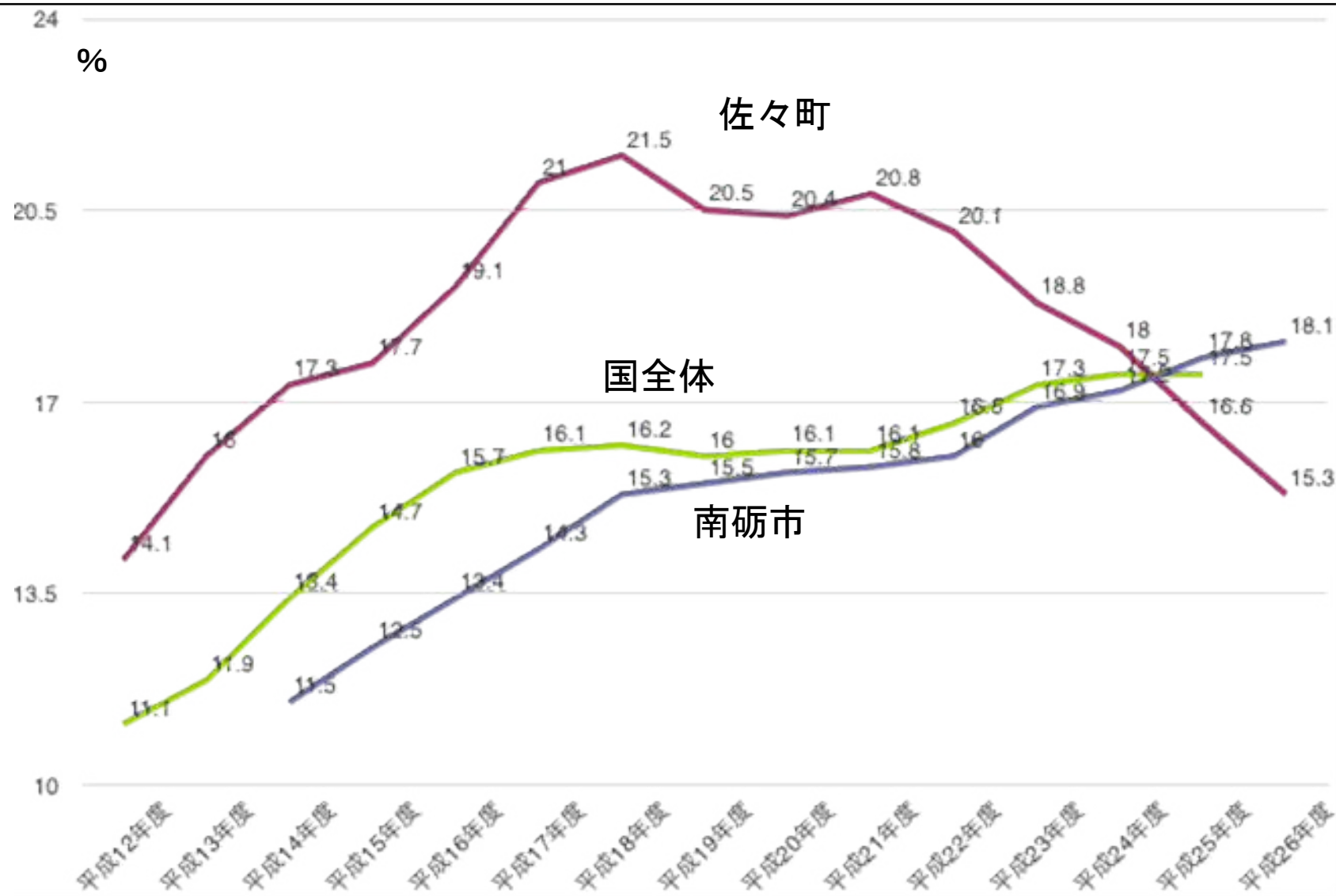
## **「地域を基盤とするケア」 意味と構築への取り組み**

**住民が望む暮らしの場と暮らしへ、養生(自助)を育み、地域での見守りや生活支援(互助)を充実し、自立を支援する。**

**住民や全ての関係者が現状と課題を知り、支え合える地域づくりに向け、「知恵を出し・汗をかく」ことで、自分も元気になり、暮らしやすく暮らす価値のある地域になる。**

# 介護保険認定率の推移

富山県南砺市 長崎県佐々町 国全体





# 地域住民の意識や行動の課題

- 1) 「世話になる」ことを「迷惑を掛ける」
- 2) 頼まないし、感謝も上手に伝えられない
- 3) 元気高齢者に役割が少なく、  
超高齢者は家に閉じ籠りがち
- 4) 家族介護に戸惑いがある
- 5) 個人情報への壁もあり、支援しにくい
- 6) これ以上、何をやらされるのか

# 家族の絆の再構築へ

## 1) 家族の絆が構築しやすい条件

- ① 要介護になる前の良好な家族関係
- ② 「地域を基盤とするケア」と「統合するケア」  
両者が地域に存在する。

## 2) 家族の絆の構築

家族介護は義務であるが、介護する家族に犠牲を強いず、できる事をできる範囲で行い、足りない所は社会が支援し、要介護者の感謝で完成する。

# 支え合いは「お願いします」から

## インクルージョン

### 近隣住民の思いと行動を変えよう

- ・日頃からの良い関係性こそ大切との認識を共有
  - ・お互い様の思いと前向きな態度での活動
- 「情けは人の為ならず」「地域づくりは介護予防」

### 地域リーダーの思いと行動を変えよう

- ・地域の家を訪問し、状況把握と要望を確認
- ・頼みやすい雰囲気が必要な支援をコーディネート
- ・支援は地域住民や専門職との連携で提供



# 南砺市型「地域包括ケアシステム」の姿

地域を基盤とするケア

地域の高齢者

住民への啓発

- ・地域医療・地域活性化マイスター養成講座
- ・南砺の地域包括医療・ケアを守り育てる会

【医療、介護、生活支援関係者と行政が連携して住民の暮らしを守る】  
(自助・互助・共助・公助の支え合い)

医療

介護・福祉

生活支援

医師

病院  
診療所

理学療法士等

(主任)介護支援専門員

居宅介護  
支援事業所

主任介護支援専門員  
保健師  
社会福祉士

生活支援コーディネーター

自治会・自治振興会

民生委員

老人クラブ

地区社協・ケアネット

地域のサロン活動

配食事業者

ボランティア

NPO法人

シルバー人材センター

～医療・介護・福祉・包括・行政が  
有機的に連携して住民を支援～

- ・訪問診療を支える訪問看護
- ・24時間定期巡回サービス
- ・認知症集中支援チーム
- ・包括医療・ケアワーキング会議

訪問看護師

理学療法士等

訪問看護  
ステーション

介護福祉士  
ホームヘルパー等

訪問介護  
・通所介護な  
どの事業所

特別養  
護老人ホ  
ームなど  
の施設

地域包括  
支援センター

地域と専門職の連携  
(地区担当専門員)  
(地域ケア推進会議)

社会福祉士等

社会福祉  
協議会

ふくし総合相談(地域福祉  
サポーター)

## 新たな取り組みへの挑戦

- ・愚痴・諦めからは何も生まれない
- ・いいこといっぱい見つけよう！
- ・長年育んだものこそが財産だ！
- ・自信と誇りをもたなくちゃ！
- ・行動を起こせば必ず結果はでる

民宿中の壁 中西邦康

75歳の民宿経営者 利賀村坂上区長

難題の無い人生  
難題の有る人生

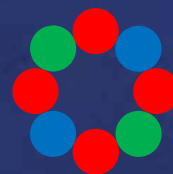
無難な人生  
有難い人生

筆談のホステス 齋藤里恵さん  
東京都北区議



ご清聴ありがとうございました。

富山県



南砺市